

## 第5回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会防災・環境部会議事録

- ◆ 開催日時 平成 26 年 9 月 18 日（木） 18：00 ～ 19：30
- ◆ 開催場所 登別市役所 2 階 第 1 委員会室
- ◆ 出席部会員 部会長 江口 武利  
副部会長 川島 芳治  
部会員 久保田 博史  
関 修  
鹿原 徳子  
遠藤 潤  
橋場 太（市庁内検討委員会 副部会長）  
【総務部総務G総括主幹】  
石垣 英雄（市庁内検討委員会 部会員）  
【総務部総務G防災主幹】
- ◆ 欠席部会員 部会員 和泉 薫
- ◆ 事務局 沼田総務部企画調整G総括主幹
- ◆ 西川原総務部企画調整G主査  
大越総務部企画調整G主査
- ◆ 議題 「第 2 章自然とともに暮らすまち」に関する考え方について

### ◎部会長

本来でしたら、前回は 8 月 19 日に開催する予定でしたが、都合が付かない方が多く、本日に延期させていただきました。改めて、今日からまたよろしくお願ひします。

### ◎事務局

前回の開催から 1 カ月以上時間が空いていますので、改めて部会の進め方の確認をさせていただきます。A 3 版の資料『登別市総合計画第 3 期基本計画体系図（案）（調整後）』のうち、『主要な施策の考え方』や『主な事務事業』の記載は参考としてご覧いただき、大まかなイメージをつかみながら、『政策』、『施策』、『施策の基本的な方向』、『主要な施策』について、意見交換をお進めくださいますようお願いいたします。

また、今後の部会のスケジュールですが、体系図（案）に関する議論は、年内にひととおり終えるよう、皆様のご協力をお願いいたします。年明けの 1 月や

2月は、体系図あるいは市への提言書に皆さんの思いをどのように盛り込むかを話し合い、3月には市民検討委員会から市へ提言書を提出いただく運びにしたいと考えています。

8月7日の前回第4回では、施策Ⅰ『環境に配慮した暮らしの構築』、2『環境保全活動の推進』、⑤『生態系の保全』までを終えていますので、本日は、施策Ⅱ『循環型社会の構築』、1『廃棄物の減量』から意見交換を再開いただければと思います。

提言書の内容は、議事録の中から皆さんの思いをまとめたものを確認の意味を込めてお配りしますので、時間はあまりかからないと思います。

意見交換はまだ始まったばかりですので、スピードアップをお願いしたいと思います。これからは、話し合いの中心が防災などに移っていきます。

では、施策Ⅱ『循環型社会の構築』ですが、施策の基本的な方向1『廃棄物の減量』の下に主要な施策①『ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化』、施策の基本的な方向2『廃棄物の有効利用』の下に主要な施策①『リサイクルの普及啓発とその実践強化』、施策の基本的な方向3『一般廃棄物の適正処理』の下に主要な施策①『ごみ処理施設の適正な維持管理の推進』、施策の基本的な方向4『産業廃棄物の適正処理』の下に主要な施策①『産業廃棄物処理場の適正な管理・指導』、施策の基本的な方向5『不法投棄の防止』の下に主要な施策①『不法投棄防止の強化』、以上の構成になっています。

『循環型社会』は皆さんご存知かと思いますが、クリーンリーダーや登別市衛生団体連合会、皆さん衛団連と呼んでいます、市だけではなく、市民と連携しながら循環型社会をつくっていきましょうということです。

①『ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化』という施策が違うという方はいないと思いますが、衛団連など市民と連携していろいろとやってみましょう、資源ごみを回収して使えるものはリサイクルしようという考えです。クリンクルセンターは、そういう考え方のもとで建設した施設です。廃棄物の減量のため、排出抑制や啓発などをしていこうという内容ですが、皆さんいかがですか。

## ◎部会員

施策の基本的な方向の1から5まで、全体的にはこういう感じではないかと思えます。

## ◎事務局

廃棄物の有効利用、分別、資源回収、回収団体の支援、再生品の有効利用、コンポストによる堆肥化などを図ったり、リサイクルの状況を見てもらったり

しようと、『リサイクルまつり』のようなイベントも行っています。

他には、一般廃棄物の適正処理、ごみステーションネットなど収集の方法、多額の建設費を投じたクリンクルセンターを長持ちさせようと中間改修もやっ  
ていこう、産業廃棄物についても関係機関と連携して適正処理を、そして、特  
に問題なのが市民や事業者とも協力して不法投棄の防止ですね。足りない内容  
などお気付きのことはありますか。

#### ◎部会長

不法投棄の最近の状況はどのようなのですか。

#### ◎副部会長

先日、旧鷺別漁港にごみがどっさり捨てられているとクリンクルセンターに  
電話をしました。不法投棄だと思います。車か何かで持ってきたようです。何  
とかしてくれとは言っているのですが、旧漁港管理者の北海道も処理する金が  
無いと言いますし、市の管轄ではないですし。

東日本大震災の津波による流木が、今でもそのままになっています。環境に  
も影響するでしょうし、何とかしたいと思っているのですが、看板を立てても  
効果がないのが現状です。

#### ◎事務局

毎年春に実施している観光道路の清掃でも、なんでこのような物が捨ててあ  
るのかと驚くことがあります。啓発に努めても、人の心までは難しいですね。

#### ◎副部会長

J R 鷺別駅の山側に自転車が山のように置かれています。自転車を捨ててい  
い場所だと思い、車で運んでくる人がいるようです。警察も勝手に移動できな  
いらしく、どんどん増えていっています。鷺別駅は、ちょうど室蘭市と登別市  
の境界があって、両市で話し合っしてほしいと思っています。

#### ◎事務局

その場所は室蘭市内かも知れませんが、単位町内会が対象の地区課題で提出  
いただく方法もあります。誰が処理に着手するのは別ですが。市のどこかの  
部署に話しましたか。

#### ◎副部会長

都市整備部には伝えていきます。警察にも伝えていきます。

◎部会長

区域によっては室蘭市と一緒にですね。

◎副部会長

その場所は北海道も関係していますので、海岸もそうですが、すぐには何とも期待できないかなと思います。

◎事務局

副部会長からお話しのあった内容は、関係部局に確認します。

この施策Ⅱの部分では、庁内の部会で記載を変える話は出ていましたか。

◎市庁内検討委員会副部会長

庁内の部会では、①『ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化』の考え方のところに『登別市ごみ減量化行動指針』の記載がありますが、そもそも基本計画が基本となる計画であり、それに何をするのかを明確にするため、『登別市ごみ減量化行動指針』に替えて、『市民・事業者・行政が一体となり、ごみの減量化に向けて、さらなる取組を推進します。』という表現に改めています。

◎副部会長

ごみステーションネット化推進事業をやっていると思いますが、箱型のごみステーションでないと、カラスの被害がひどいですね。

◎部会員

カラスがネットの縁から入ってこないようにするだけで違いますよ。

◎部会長

カモメもひどいですね。大きいですし。

◎事務局

衛団連では、このような話はしていないのですか。

◎副部会長

ネットはだめだと言っています。景観も含めると、国道沿いは置いたらだめとなっていますが、カラスにはやられますし、個人的には統一したやり方が良いと思っています。国道は北海道開発局が維持していますし、みんなバラバラではなく、統一したいですね。

### ◎部会員

このような形の箱はスマートで素敵で、汚く見えないですね、というのがあるといいですね。

### ◎副部長

江差町に行ったとき、ごみステーションの箱を統一していました。国道もまち中もです。あのような形にしたら、景観にも環境にもいいと思います。今後の課題ですね。

### ◎部長

札幌市でいいなと思ったのは、A3大のベニヤを切って穴を開け、ロープで縛り、蛇腹のようにして、縁にネットをかけます。ごみ収集が終わったら、蛇腹なのでパタパタと畳めます。

### ◎部会員

ネットでも、鳥の口ばしのごみに届くことがありますよね。

### ◎部長

ネットの下にブルーシートを置いたら完璧ですよ。

### ◎事務局

箱がだめだからネットになっている経緯がありますので、箱は難しいかも知れませんね。ネットは施策としてもいいのですが、よりきれいに見えるようにするには、行政の努力か市民の努力か、超えなければならない壁があります。蛇腹がいいのか、検討が必要だと思います。この部会の思いということによろしいですか。衛団連の中でもそういう話をしてくれた方がいいかも知れないですね。市民も行政も考えますよということですね。

### ◎部会員

生ごみの堆肥化ですが、費用が掛かっていて儲けがなく、やめるかやめないかということですね。

### ◎事務局

一袋何千円も掛けてつくって、何十円かで売っています。これを続ける体力が登別市にあるのかということですね。

◎部会長

そんなにお金が掛かるなら、燃やした方がいいのでしょうか。

◎事務局

資源としてリサイクルできるのにこのままでいいのか、ということでクリンクルセンターを建設したので、単純に燃やしてしまっていていいのかという思いもあり、板挟みですね。

◎市庁内検討委員会副部会長

いわば迷惑施設の産物で、安く提供というイメージです。

◎部会員

今度は燃やすごみが増えて、炉の寿命が短くなる心配があります。登別温泉街の生ごみも相当量ありますし、燃やすのも大変です。

◎副部会長

登別温泉街の生ごみは、クマ牧場で利用しているのですか。

◎部会員

生ごみとしては、クリンクルセンターに約 400 トン入ってきています。

◎副部会長

以前は、クマ牧場で飼育しているクマの餌として使っていたと聞いたことがあります。

◎部会長

登別温泉街の生ごみは減っているのではないですか。

◎部会員

観光客の増加に伴い、生ごみも増えているとのことでした。

◎部会員

食べ残しも有効な資源ですし、費用が高くても、堆肥化することで資源のリサイクルの精神には合っているんですよね。クリンクルセンターの堆肥は安いし重宝しています。

◎部会長

6・7年使っていますが、花の勢いが違いますし、いい肥料になっています。

◎事務局

以前はコンポストをよく推奨していましたが、消費者協会ではどうですか。

◎部会員

ちょっと不衛生ですね。途中でやめちゃったくらいです。特に臭いが嫌ですね。やはり堆肥化の廃止という言い方は個人的にしてほしくありません。お金が掛かるからという流れにはしたくないですね。

◎事務局

ゴミ袋が値上がりする可能性にもつながるわけで、そこも考えていかなければと思います。受益者負担も高くなりますし、10円値上げするだけでも、大きな反響にもなります。

◎部会員

単純な値上げだと市民の反発を招くので、リサイクルできるプラスチックなど、無料回収の範囲を広げてはどうかと環境対策グループに提案しています。そうすると、ごみの排出量は減りますが、袋の値段は上がります。分別の手間は増えますが、排出量の削減にもなります。

◎部会長

確かに抵抗はありますね。

◎部会員

熱量は確保できそうです。白老町のごみが入ってきてから、ごみピットがいっぱいで、少しでも減らせたらと思っています。中間改修の工期確保も厳しくなりますし。

◎部会長

ペットボトルの回収もきちんとやっていますよね。

◎部会員

中を洗っていないと、売り物にならないようです。売り物にならないければ、結局、ごみピットに入ってきます。

◎部会員

ペットボトルの中を洗うよう、市民へのPRが必要ですね。

◎副部長

ペットボトルとプラスチックの部分を離しておけば値段が違うですよ。

◎部会員

離れた部分は、廃プラスチックになります。

◎部会員

市民は、男女問わず、分別の意識が高くなっているように思います。

◎事務局

昔は浸透が大変でしたが、今では理解が深まっていますよね。

◎部会員

プラスチックを離せば、ペットボトルは高く売れますよね。

◎事務局

今でも、ごみ袋の値段が高いと言う方がいます。処理の費用を考えず、袋だけの値段だと思っているようです。

◎部会員

ちゃんと受益者負担してもらわないと当たり前構造にしないといけませんね。これからもっと高齢化が進みますし、そう考えたら、責任は果たしながらの社会にしないといけません。最初の分別のときとは違いますから、反発は少ないのではないのでしょうか。

◎部会員

登別市では、室蘭市と違い、何でも燃やしていますよね。逆に何でもいいからということで、だめなごみも入ってくることもあります。

◎副部長

どんなに便利な世の中になっても、ごみは出ますからね。



◎部会員

小型家電の回収にパソコンが加わったと聞きましたが。

◎部会員

ハードディスクや部品、プリンターなどもいいです。もちろんパソコン本体もです。

◎部会長

テレビはだめなんですよ。分解したら希少金属が出てくると聞きましたが。

◎副部会長

テレビに手を掛けたら、市の方が大変です。費用の持ち出しになってしまいます。

◎事務局

『循環型社会の構築』は、このあたりでよろしいでしょうか。では、次の生活排水に移ります。

施策Ⅲ『生活排水の適正な処理』ですが、施策の基本的な方向1『公共用水域の水質保全と処理施設の適正な管理』の下に主要な施策①『下水道事業の促進』があり、施策の基本的な方向2『し尿の適正処理』の下に主要な施策①『し尿投入処理施設の整備』があります。

◎部会員

この部分を書いている言葉は分かるのですが、実質的な課題は何でしょうか。

◎事務局

下水道事業は、今後もやっていかなければならないですし、水洗化の推進が必要です。し尿処理施設は、クリンクルセンターの横をやめて、若山浄化センター横にし尿投入処理施設を建設し、バイオ的に分解しています。

◎部会長

現在、汲み取りの世帯はどれくらいあるのですか。

◎副部会長

下水道の普及率や水洗化率はどのくらいですか。

### ◎市庁内検討委員会副部長

第2期基本計画から第3期基本計画（案）を検討したときに、『下水道の普及拡大と処理施設の適正な管理』、それから『合併浄化槽の普及』、これを合体して、『公共用水域の水質保全と処理施設の適正な管理』としています。それをさらに処理施設の管渠も含めて維持管理が必要ということで、『処理施設』を『下水道施設』としています。

### ◎事務局

さらに大きな言い方にしているということですね。

ちなみに、下水道の人口普及率は平成21年度で95%、水洗化率とはちょっと違って平成21年度で82%。合併浄化槽は22%、し尿汲み取りは平成21年度で8,000キロリットル、平成16年度は13,000キロリットルですので、水洗化の進展に伴い、汲み取りは減っています。

水洗化率は平成25年度で86.4%、下水道処理人口普及率は95.7%ですね。人口が少ない山間部では、全域ではありませんが、下水道事業をやっていないのかなと思います。山間部ですと、下水道を引っ張るのに費用が掛かり大変です。

### ◎部長

費用対効果も考えないといけないですね。

### ◎部会員

水洗化率は、合併浄化槽も含めてですか。

### ◎事務局

浄化槽は除いています。柵はあるけど接続していないとか、高齢だから下水道はいらぬという方もいます。融資の斡旋や補助の制度もあるのですが。

### ◎部会員

下水道処理人口普及率は、下水道は通っているけど使っていない状態で、水洗化率は実際に水洗化している世帯ですね。

### ◎事務局

これをやらないと川が汚くなりますし、やめることはできないですね。行政の仕事の中でも分かりやすいもののひとつです。

## ◎部会員

若山浄化センターで、汲み取りしたし尿の処理をしているのですか。

## ◎事務局

し尿投入処理施設で、菌を使った処理しています。9月15日（月）には、若山浄化センターでイベントも開催しました。広報のぼりべつ10月号で紹介しません。数年前にし尿投入処理施設を建設して、もともとの古い施設はやめました。

お金が無いので、古いし尿処理施設の場所をきれいにできず、小・中学校の耐震化を優先している状況です。

## ◎市庁内検討委員会副部長

庁内の部会では、主要な施策で『し尿投入処理施設の整備』は、既に施設の整備を終えたことから、『し尿投入処理施設の適正な維持管理』という表現に変えています。

## ◎事務局

では、第2節『自然を生かした潤いのあるまちづくり』に入ります。

第2章の施策は一つのみとなっています。施策I『人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出』の下に、施策の基本的な方向1『自然環境活動の拠点づくりと人づくり』、その下に主要な施策①『自然環境を活用した学習の場の充実』があります。

次に、施策の基本的な方向2『自然環境の保全と回復』、その下に主要な施策①『適切な自然環境保全活動の推進』、②『野生生物のデータ集約及び情報の発信』、③『自然を生かした公園、緑地の整備』、④『海岸沿いの緑の保全』、⑤『森林の保全』があります。

次に、施策の基本的な方向3『水辺環境の保全・創造』、その下に主要な施策①『河川沿いの緑化推進』があります。

次に、施策の基本的な方向4『自然とのふれあいの場の整備』、その下に主要な施策①『地域の自然資源を活用した自然とのふれあいの場の整備』があります。

最後に、施策の基本的な方向5『葬斎場・墓地の整備』、その下に主要な施策①『葬斎場の効率的な運営』があります。第2節は以上のように自然環境の保全が中心の構成になっています。

初めに、施策の基本的な方向1『自然環境活動の拠点づくりと人づくり』、その下の主要な施策①『自然環境を活用した学習の場の充実』ですが、通学合宿みんなて学ぶ『子ども村』という取り組みをやっていきます。

◎部会員

教育委員会の主催で、小学校4校ずつ、5月から12月まで、小学生が4泊5日、ふおれすと鉱山に宿泊しながらの通学合宿です。

◎事務局

人気の事業ですよ。

◎部会長

子どもは楽しそうですね。

◎部会員

食費くらいの負担で参加しています。

◎事務局

家で過ごすより費用は掛かりますが、得難い経験なのかなと思います。

◎部会員

事業の中身をもう一步踏み込んでほしいと思います。楽しいところばかりの学習だけではなく、つらいことや悲しいことも学ぶような学習にしてほしいですね。

◎事務局

鉱山の山中で野放しにするなどですか？

◎部会員

つい先日、モモンガくらの事業で、子どもたちが寝袋など荷物を背負ってカムイヌプリに登ったり、自分で食事作ったりと大変でしたけど、さまざまな体験していました。

◎部会員

共生という言葉は安易に使いたくないですね。自然の命をもらって人間は生きています。それは共生ではありません。そこを今のような体験だけで成り立つのでしょうか。子どもにそういうことを伝えるのも教育かなと思います。

### ◎副部長

やり方によっては、それもありですね。私も以前から言っています。学習の場の充実で、食べるものは山から取ってこいとか、食べられるものとだめなものを見分けて食べるなどですね。せっかくやるのなら、保護者が食材を買ってきて、決まったメニューのものを作ってくれて食べるだけじゃだめかなと思います。

### ◎部長

食料は、現地調達じゃなきゃだめということですね。

### ◎部会員

モモンガクラブの体験メニューでは、自分たちで食べるもの、食べられないものを分ける知恵を付けています。教育委員会は、食事の提供はしていますが、たき火をするプログラムの手伝いはモモンガクラブです。生きる力を学ぶ機会が増えるといいですね。たき火のほか、教師を目指す札幌の大学生も一緒に泊まり込んで、子どもと接したりもしています。

### ◎事務局

子ども村は初級編かも知れないですね。今は、水族館の魚と刺身を見て一致しないと思っている子どもがいるそうですね。切り身が泳いでいると思っている子どももいるようです。

### ◎副部長

自然に恵まれているのだから、それを体験させるのも必要ですね。

### ◎部長

魚は釣れるのですか。

### ◎部会員

少ないですが、釣り人は結構来ています。今年、市内全小学校の5年生が、ふおれすと鉾山に宿泊し、どの学校も川の冷たさや流れを体験し、理科で流れる水の働きを3学期に学ぶ前に体験していきました。

### ◎事務局

このほかでは、キウシト湿原の関係ですね。湿地帯なのですが今では貴重な場所で、夏にはホタルの観察会をやっています。モモンガくらぶのように、市もキウシト湿原・登別と連携しています。団体では、見学者への説明もしてくれています。昨日開催しました9月17日（水）の三市合同施設見学会でも見学したところ、団体の方が説明してくれて、参加した市民も喜んでいました。

### ◎部会員

一度行きたいと思っています。

### ◎事務局

整備に10年くらいかかっています。駐車場や柵を整備し、センターハウスを建設中で、来年度に本格オープンを見込んでいます。子どもの頃はこういう場所がいっぱいあったなと思います。そういう場を使って、子どもも大人も学習活動していこうというのがキウシト湿原ですね。このほか、ネイチャーセンターもあります。

### ◎部会長

モモンガくらぶの会員は何人いるのですか。

### ◎部会員

約160人です。

### ◎事務局

市だけではなく、民間とも連携していかないとできないことです。自然環境を活用した学習の場の充実は、お金が掛かりますけど、ネイチャーセンターやキウシト湿原を整備し活用しようということで進めています。

提言には、サバイバルといいますか、山に行って食べられるものを見分けや、もっと自然に親しむべき、など入れましょうか。

### ◎副部会長

モモンガくらぶの皆さんがいるのだから、そういう指導もしていただけるかなと思います。

◎部会員

保護者があまりセッティングせず、子どもたちが自分でやるというのも大事ですね。

◎部会員

我々もそれに気を付けて、見守る方を心掛けています。

◎市庁内検討委員会副部長

たくましい子どもに育ててほしいという理想は分かりますが、子どもが弱くなってきている中でどこまでできるのか、10年間の目標に入れて大丈夫でしょうか。これから子どもが減っていき、これから平成28年度から10年間の計画の中で、どこまで実現性のあるものとして盛り込めるものなのでしょうか。

◎事務局

皆さんの思いとしては、関係部局には出します。サバイバルに長けた子どもを育てるといのは書きにくいと思いますので、皆さんの思いということよろしいでしょうか。

◎市庁内検討委員会副部長

自分たち大人も、食べられるものを見分けがつかないですね。

◎部会長

自然と覚えていくものです。

◎市庁内検討委員会副部長

この話は、第2章の視点なのでしょうか、教育の視点なのでしょうか。

◎事務局

判然としないところはありますが、ネイチャーセンターは昔から言っていますし、自然を理解してもらおうというのは学習になってきますし、体験となると社会教育という概念が強くなるのかも知れないですね。そういうところここはよろしいですか。

◎副部長

関連して、景観・緑化条例のことをお聞きしたいのですが。

## ◎事務局

都市整備部を中心に、各部局の職員も入って中身を検討しています。条例案として、どのようにまとめようかと議論していて、本年度中に条例施行したいと都市整備部では言っていました。

条例の内容も基本計画と同じ方向性だと思いますが、基本計画もその条例も整合を取る必要があります。

今回は、9月29日（月）の18時から、この会場、登別市役所2階第一委員会室で開催します。